

お米の  
生産者の  
皆さまへ

# 水田農業緊急情報

今から、  
どうして、  
そんなことが  
わかるの？



このままでは **3年産米価格**は

# 大幅に下落

してしまいます！

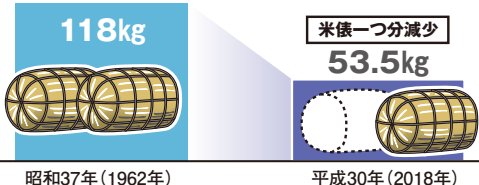
そうだったら  
経営が  
成り立たない！



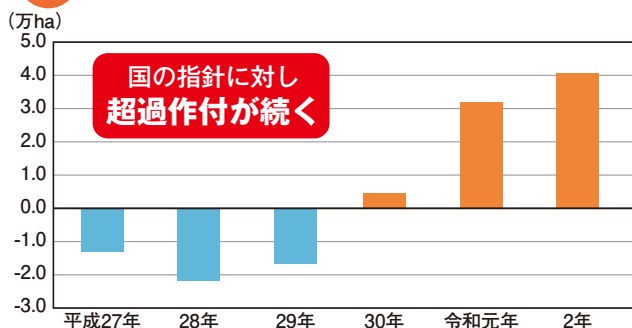
▼ 主な理由は次の通りです。

## 1 需要は年々減少しています

国民1人・  
1年あたりの  
米の消費量



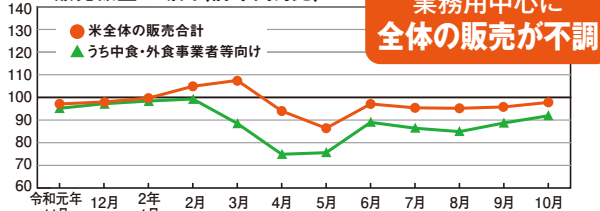
## 2 作付面積は減少していません



※国の基本指針における主食用等生産量(29年産までは生産数量目標、幅がある場合は下限値)の面積換算値と主食用実作付面積との差

## 3 新型コロナウイルスの影響

販売数量の動向 (前年同月比)

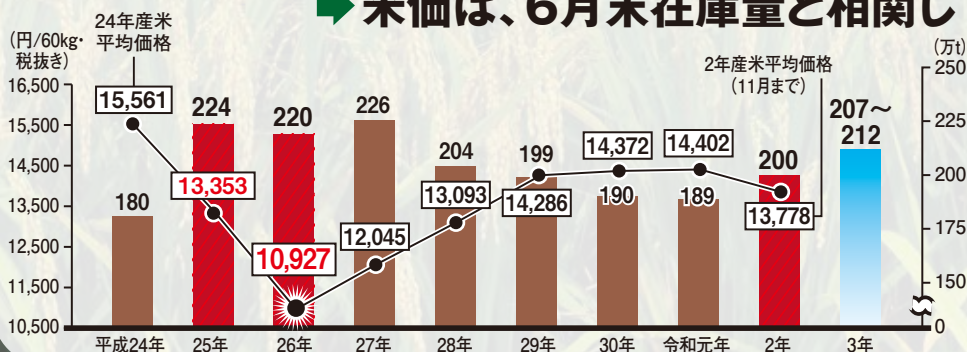


では、どのくらい米価が  
下がってしまうの？



## 価格は需給で決まります！

➡ 米価は、6月末在庫量と関連しています。



過去に同水準の在庫量となった25、26年産では、それぞれ前年から60kgあたり2,000円以上も下落し、26年産では多くの産地銘柄で60kgあたり1万円を下回りました！

※価格は農水省公表の相対取引価格より、税・包装代控除。令和2年産米は令和2年11月までの平均価格

大変!  
どうすればいいの？

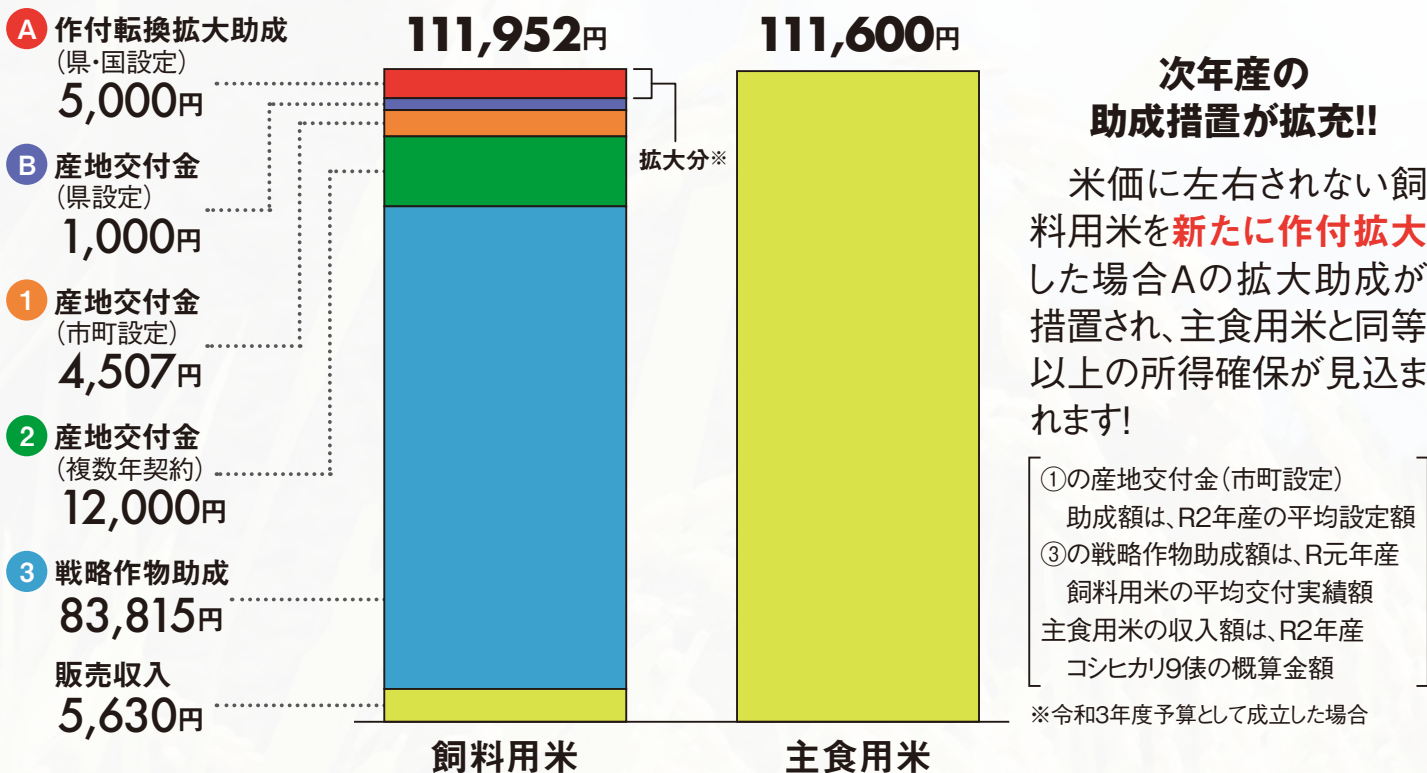


# 飼料用米等の非主食用米や麦・大豆、露地野菜等に 作付を転換し、経営の安定を図りましょう！

# 水田で取り組みやすい飼料用米を作きましょう!

- 次年産の飼料用米作付けに対する助成措置が拡充されました。
- 各種助成を活用することで、主食用米並みの収入を得ることができます。

## 飼料用米と主食用米の10aあたり収入比較



## 飼料用米に対する主な支援内容

新たな支援策

### A 作付転換拡大助成… 5,000円 / 10a (県:2,500円、国:2,500円)

- 主食用米から飼料用米等に転換拡大した生産の場合 (飼料用米の他、米粉用米、輸出用米、麦、大豆(いずれも基幹作)も対象) ※令和3年度予算として成立した場合

### B 産地交付金(県設定)… 1,000円 / 10a

- 県が設定する生産性向上に資する取組に基づいた生産の場合

### ① 産地交付金(市町設定)… 0~9,000円 / 10a

- 市町が設定する生産性向上に資する取組に基づいた生産の場合 ※市町(再生協)によって設定の有無、単価が異なります。

### ② 産地交付金(複数年契約)… 12,000円 / 10a

- 実需者との複数年契約(3年以上)に基づいた生産の場合

### ③ 戦略作物助成… 55,000~105,000円 / 10a

- 収量に応じて、55,000円~最大105,000円(+150kg以上の場合) ※栃木県の令和元年産飼料用米の平均交付実績額は83,815円

継続となる主な支援策